

教材・支援機器活用実践事例フォーマット(特別支援学校版)

*この資料は、Webで公開することを前提にしています。生徒の個人情報公開の確認を取るか、個人が特定できないように作成するか、注意してください。

	実践年度	平成28年度
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	国語「大きな声を出そう～正しい発音・発声練習～」 算数「簡単な足し算に挑戦しよう」
	授業の目標	国語:自信を持って大きな声で発声することができる。 算数:簡単な足し算に興味を持って取り組むことができる。正しい発音で発声できるようにする。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
	自立活動の要素	<input type="checkbox"/> 「健康の保持」 <input type="checkbox"/> 「心理的な安定」 <input type="checkbox"/> 「人間関係の形成」 <input type="checkbox"/> 「環境の把握」 <input type="checkbox"/> 「身体の動き」 <input checked="" type="checkbox"/> 「コミュニケーション」
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 3年生 4名
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
子どもの実態	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input checked="" type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> 時間的・空間的・人的交流の制約 <input type="checkbox"/> その他 4名とも他者と会話をするとき緊張する様子が見られる。その影響で口の動きが小さく相手に話の内容が伝わらないことが多い。また、授業や勉強という言葉に苦手意識があり、「算数(国語)するよ」と言葉かけをすると嫌な表情を見せるときがある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	ランドセル小学1年生 操作しやすいように作られたパソコン用マウス テレビ 児童用パソコン 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援)B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援)C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) 「授業」や「勉強」という言葉に苦手意識をもつ児童達に対して、パソコン教材を活用し、映像や音を楽しみながら興味を持って意欲的に教科学習が行えるようにする。
	活用方法	算数 ①4名の机の前にテレビを設置し、どの児童からも映像が見えやすいようにする。 ②今日の授業の目標、やる内容を説明する。 ③ランドセル小学1年生「あわせていくつ ふえるといくつ」を開き、児童一人ずつ簡単な足し算の問題に取り組む。他の児童もその様子を見ながら正解か不正解かの判定を行う。 ④難しい場合は教師がヒントを出したり、机の上にあるブロックを使用し問題に取り組む。 ⑤プリントで確認テストを行う。 国語 最初の発声練習やお口の体操を行った後、ランドセル小学1年生「あいうえお」を開き、歌に合わせて学習する。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	黒板を使用して、授業を行っていくことも大切であるが、児童達の集中力や興味・関心を高めていく点においては、パソコンを活用した指導は効果的であった。「算数(国語)しますよー」の言葉かけにすぐに着席することができた。アニメーションや音楽により足し算の内容が視覚的にわかりやすく、問題の正解も増えた。「あいうえお」の歌では五十音の学習をしながら楽しい音楽に合わせて歌も歌えるので、みんなで大きな声を出すことができた。
資料	図・写真・表等はこちらへ貼り付けてください。 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	